

令和5年度 県立名護商工高等学校 学校評価（自己評価・学校関係者評価）

1 教育目標	① すぐれた知性の育成（知育） ②ゆたかな心の育成（徳育） ③たくましい体の育成（体育） ④協働で新たな価値を創造する力の育成（共創力育成）
2 学校経営目標	1 良き校風と支持的風土の伴う魅力ある学校づくりの推進 2 心身ともに健康で明るく安心・安全に過ごすことができる学校づくりの推進 3 着実な成果のもと生徒・保護者・地域の期待に応える信頼される学校づくりの推進 4 職員が専門性を高め安全で健康的に働くことの出来る学校づくりの推進

※ 評価基準 A:ほぼ達成（8割以上） B:概ね達成（6割以上） C:変化のきざし（4割以上） D:不十分（4割未満）

重点取組事項	評価項目	自己評価	令和5年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者から次年度に向けての要望等
1 チーム学校体制の確立	(1)学校重点目標について学校全体で共通理解され、達成に向けた取り組みが着実に進んでいる	B	・年度当初に重点目標に関する共通理解を図る必要がある。	A	
2 キャリア教育・進路指導の充実強化を図る	(2)進路相談・個別指導の充実や進路情報の収集・提供など進路指導が強化されている	A	・0学期からの指導や先輩講話などの実施をする必要がある。	A	就職の面接対策をPTA役員と協力し、実施して欲しい。
	(3)キャリア教育の充実により望ましい職業観・勤労観の育成に努めている	A			
	(4)学校は生徒・保護者がいつでも進路相談に行ける雰囲気である	A			
3 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実	(5)部活動の活性化を図り、豊かな人間形成に努めている	B	・働き方改革と部活動指導のあり方を検討しなければならない。	B	部活動の精選や外部コーチの活用をして欲しい。 平日、休日の休養の徹底を図って欲しい。
4 特別支援教育体制の充実	(6)教師は生徒の特性や発達上の課題をよく理解し、支援員との連携や関係部署との情報共有など学習指導の工夫を行っている	A	関係職員との情報共有や連携を図る必要がある。	A	転学や退学者を減らすためにも個別の対応が必要である。

重点取組事項	評価項目	自己評価	令和5年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者から次年度に向けての要望等
5 授業改善の推進	(7) 補習や課外講座等による個に応じた指導を行い、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図っている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した個に応じた指導について検討が必要である。 ・指導と評価の一体化にともなう授業改善については、今後も研究が必要である。 	A	
	(8) 主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行っている	A			
	(9) 各種資格・検定の取得を奨励し、専門教育指導の強化を図っている	A			
6 学校安全及び教育環境整備の推進	(10) 学校の環境は、安全で健康的なものとなっている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・和式トイレを洋式トイレに変更する必要がある。 ・生徒送迎時の保護者への交通安全、運転マナーを徹底する。 	A	通学路での危険運転行為の指導をして欲しい。
	(11) 校内の施設・設備は常に点検・整備が行われている	B			
	(12) 授業中や休み時間に健康観察を行い、体調不良者については保健室等へ連絡または早退させる等の適切な対応を行っている	A			
7 生徒指導・教育相談の充実強化	(13) 規範意識の醸成と挨拶や相手を思いやる心の育成等の指導が行われている	B	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル（SNS等）に関する指導内容・方法について、強化する必要がある。 	B	校外での喫煙やバイク駐車の指導を徹底をして欲しい。
	(14) 生徒たちの安全意識の向上や交通安全指導が行き届いている	B			
	(15) 学校は体罰のない学校づくりに取り組んでいる	A			
	(16) 学校は生徒の暴力や暴言のない学校づくりに取り組んでいる	B			
	(17) 担任、教育相談係、関係部署で連携し、教育相談の充実に努めている	A			

重点取組事項	評価項目	自己評価	令和5年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者から次年度に向けての要望等
8 生徒指導・教育相談の充実強化	(18) 学校はいじめを防ぐために、行事や講話などの取組を行っている（いじめの未然防止）	A	・引き続きいじめ事案が生じた場合の迅速な対応と保護者との情報共有を密にしていく必要がある。	A	いじめ事案等の把握今後とも取り組んで欲しい。
	(19) 学校は日頃から、いじめを相談しやすい雰囲気づくりやアンケート調査、声かけなどを行い、いじめの早期発見に努めている（いじめの早期発見）	A			
	(20) 学校は、いじめが発生した場合、すぐに被害者を保護し、いじめの事実確認などいじめの解消に向けた対応を行っている（いじめの早期対応）	B			
	(21) いじめの発見・通報を受けた職員は直ちに管理者に報告するなど、いじめの解消に向けて法令等に基づき組織的に対応している（いじめ関係法令の遵守）	A			
9 特別活動等の充実強化	(22) 生徒の自主的運営による行事を実施している	C	生徒総会をもとに生徒の自主性を図っていく。	B	
	(23) 学校行事等で帰属意識、公共の精神、社会性を育成している	B			
10 学校広報活動の充実	(24) 中学校への広報活動を充実させている	A	引き続き広報活動に取り組んでいく。	A	各科の取り組みを横断幕等で宣伝して欲しい。
	(25) 学校ホームページや校門前掲示板等で広報活動を充実させている	A			
11 地域から信頼される学校づくりの推進	(26) P T A評議員会の定期的開催と、地域情報交換会や夜間巡視へ積極的に参加している	C	働き方改革による夜間巡視や週末の出勤等を見直していく。	B	
	(27) 保護者・地域住民、学校評議員会の意向を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりを進めている	B			

評価者の意見（その他）

- ・親になり初めての高校生活。何分以内に教室に来ないと遅刻とか、何分以上教室にいないと欠課など、義務教育の時に出来ていたことが出来なくなっている我が子に驚きと共に、逆に正確な時間を知らせてる先生方に驚きです。当たり前前を当たり前前に出来る3年間になることを切に願います。そして、これからも先生方の諦めないご指導、ご助言をよろしくお願いします。
- ・学校での話をしないので、回答がどちらとも言えない。特に不満はありません。
- ・いつも生徒の為に一生懸命に取り組んで頂き感謝致します。
- ・頭髪などの違反が多く見られそのままの状態だったりで指導が緩いのかなとも思ったりします。